

創業70年、老舗ベンチャーとしてIoTソリューションを加速

TBグループ 村田三郎代表取締役会長に聞く

LED(発光ダイオード)デジタルサイネージや電子レジスター、POS(販売時点情報管理)を主力事業としているTBグループが、初めてCEATEC JAPAN(10月4日~7日 幕張メッセ)に出展する。元ソニー社長の安藤国威氏を特別顧問に迎え、「すぐに使える」IoT(モノのインターネット)を活用することで「NEWステージ」を展開する。時流である「グッド3K」の「環境、健康、観光」を重点事業領域に掲げ、異業種との「共創」と「協業」戦略で顧客のニーズに応える新しいソリューションビジネスを目指している。TBグループの村田三郎代表取締役会長がその想いを語る。

—老舗ベンチャーの原点は

私たちは社是を「喜んでもらう喜び 己もよろこびたい」(For You For Me)とし常に「普及率ゼロへの挑戦」を目指しています。今期の経営スローガンは『NEWステージで稼ぐ力を創る』で新たなステージへの挑戦を行います。

—そのNEWステージの経営戦略とは

「共創と協業」での変革です。経済環境が変わりデバイスから商品まで垂直統合して事業拡大する時代から「スマート革命・IoTビジネス・AI」と大きく変化し単独企業ではスキルとスピードが追い付けません。21世紀での勝ち残り成長戦略は、最先端技術を「共創」し、また業界の有力市場を持つ企業との「協業」で普及させることにあります。この志を同じくするパートナーと水平分業していきます。

—元ソニー社長、元ソニー生命会長の安藤国威氏を特別顧問に迎えたのは

安藤氏が提唱しているグローバルなオープンイノベーションと高い経営識見に共鳴し、ぜひともTBグループで具体化し世の中に一灯をともしたいと熱望し、経営パートナーとしての助言をいただくようになりました。第一弾としてCEA

TECにソニーOBの企業との共創戦略商品を出展します。

—NEWステージの商品コンセプトは

私どものコアビジネスであるLEDデジタルサイネージにIoTを活用し「iサイネージ」として展開します。さらに私どもの22年前の特許商品「スキップバックレコーダ」が現在ドライブレコーダ(ドラレコ)やデジタルタコグラフ(デジタコ)として大きく進化普及し始めていることから、「クラウド・IoT」対応のスマートドラレコを開発販売し、スマートデジタコを開発し認可申請中です。今回出展のテーマは、いずれもIoTの活用であり「いますぐ使えるIoT」として

—グッド3Kという新しいキーワードは

私たちが標榜し事業領域とするグッド3Kとは、環境、健康、観光の3分野です。環境分野では省電力本命商品のLEDライトやiサイネージが本格普及期に入りました。共創戦略でユニークな商材を創り、協業戦略で特に電力や通信、サービス業、看板広告業界の人達と「LED工房®」ネットワークをつくります。またホテル、病院、官公需市場ではレンタルビジネスを始めます。健康分野で

は、NTTグループ、シダックス、セントケアなども出資しているグループ会社のホスピタルネットを中心に、病院プライベートカードシステム累計40万台の得意先を活用したIPTV(インターネットテレビ)化や、金融とITを融合したフィンテックによる財布レス化に取り組みます。病院、クリニック、介護分野での「IoT・AIロボット分野・タブレットによるホスピタルコンサルジュ」事業も現在推進中です。

—インバウンド事業やスマートレジ事業の展開状況は

インバウンド事業は、グループ会社のMビジュアルを中心に進めています。VOD(ビデオ・オン・デマンド)得意先ホテル約400件・部屋数3万5000室のIPTV化を図り、インバウンド向け多言語放送、イベント、緊急放送、WiFi、通訳サービスを丸ごと提供し、また無料サンプル提供(特許申請中)によるeコマースビジネスをアジア圏で展開します。スマートレジ事業は、グループ会社であるTOWAを中心に展開しています。スマートフォンとの連動や軽減税率対応レジの助成策を活用し、フォロワーの風として取り組んでいきます。



むらた・さぶろう 長崎県出身。福岡工大卒。1969年船井電機入社。フナイ電機商事取締役を経て1978年ビッグサンズ創業(ビデオ機器メーカーとしてTVプリカカード・LEDサイネージ機器)。2007年からTBグループ代表取締役会長。

—老舗企業ですがベンチャースピリットはますます旺盛ですね

おかげさまで今年11月に創業70周年です。経営環境の変化にしなやかに対応した先駆者のお陰です。テレビ部品メーカーからPOSおよびLED表示機の電子機器メーカーへ進化し、これからのNEWステージへは、グループ経営による「水平分業でのIoTソリューション企業」へ、リオ五輪銀メダル男子400mリレー競技のような力強いバトンタッチをしていきます。

TBグループ CEATEC JAPAN 出展商品の見どころ

10月4日~7日 幕張メッセ
ブース番号 2S39

iサイネージ =屋外型LEDサイネージ+IoT

TBグループは、CEATECにAndroidベースの新コントローラーを搭載したNEXTステージのコンセプトモデルを出展する。

現在LEDデジタルサイネージは、独自のライン飾りなどのアイキャッチ効果を重視した商品群で、主に営業案内や商品広告など店舗独自の情報発信ツールとして使用されている。

今回出展する新しいコンセプトモデルでは、センサーやカメラをIoTでつなぎ顔認識させることで、取得した情報はサーバーに集積され、ビッグデータとして顧客満足の向上や販売促進など、さまざまな活用が期待できる。

例えば店舗では、個別に状況別におすすめの商品やキャンペーン情報などを発信できたり、公共施設では多様な情報伝達を図ることができる。

インバウンドの顧客に多言語による情報提供も可能となる。

非常時には外部からの緊急信号を受けて、普段使っているデジタルサイネージに地域の緊急情報や災害時役に立つ情報などを表示させることもできるようになる。

このようにIoTを駆使することにより、従来の画一的なデジタルサイネージとは異なる「タイムリーで臨機応変」な「iサイネージ」に進化させる。

TBグループでは「iサイネージ」の販売および取付サービスを行う「LED工房®」パートナーも近日募集予定だ。



※商品の発売は2016年を予定

スマートドライブレコーダー =ドライブレコーダー+IoT

新コントローラーを搭載したスマートドライブレコーダーも出展する。

現在開発中のデジタルタコグラフや業務用ドライブレコーダーはデータの保存と同時にクラウド上でのリアルタイム運行管理や業務連絡ができるもの。今回はこれにバックミラータイプの車内カメラや車外カメラをつなげることでタクシーやタイムシェアカーなどにおいて、強盗やいたずら情報のデータファイル化および遠隔監視ができるようになる。

将来は自動運転対応車両とつながることで事故時のデータファイル化ならびにAIによる事故予測・予防情報の発信が可能となる。

この商品カテゴリーは自動車損保会社への採用が世界的に見込まれている。モニターを募る。